

島田市ゆめ・みらい 第2回百人会議全体会議要録

1 日時

平成26年1月10日（金）19:00～21:00

2 会場

おおるり大会議室

3 出席者

委員：88人

島田市：染谷市長、渡辺副市長、濱田教育長

事務局：大石企画調整課長、秋山企画調整係長、駒形主査、岩本主査、小松主事

※各部長、課長等の傍聴も多数あり。

4 概要

1 開会

司会：大池副代表

2 大石代表あいさつ

寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。

10月より始まりました百人会議は分科会に分かれて進めてきた。

約束ごとは、「他人の意見や考えを否定しない、一人だけが話さない、楽しく行いましょう」。

今回、私の所属した第2分科会のテーマは、「市民が安全・安心に暮らせるまち」で、私のグループのテーマは、「交通安全」であった。各グループが、まちづくりを行うためにどのようにすればよいかを話し合い、検討を行った。

よって、和やかな雰囲気の中から5人の意見を一つに絞り込むことを学んだ。時間厳守の検討会でしたが、楽しい時間でもあった。

その結果、皆さまの活発な意見と提案のおかげで、本日その提案書を提出する運びとなった。ご協力ありがとうございました。

次回からは、委員自らが挙げたテーマで検討を行います。委員の皆さん、大いに行動してください。これからも、明るく、楽しく、元気よく、参加し、話し合い、提案し、実際の活動につなげていけるように皆さんで、百人会議を進めていきたいので、ご協力をお願いします。

3 提案書の手交

大石代表から染谷市長へ「ゆめ・みらいプロジェクト-島田市総合計画後期基本計画への提言-」が手渡された。

4 各分科会の活動報告と提案内容の発表

各分科会のリーダーから分科会の活動の様子について報告を行い、検討した20のプロジェクトについて、各グループから発表を行った。

5 染谷市長あいさつ

20 グループの発表で、あっという間に1時間以上の時間が過ぎてしまった。

今日は、朝8時半から平成26年度の予算編成があり、かかりきりで休みなく仕事をしていましたが、昼休みにはパソコンを開き、「今夜は百人会議の発表があり、今からわくわくドキドキしている。提案いただいたものについては、しっかりその内容を検討し、やれるものやれないもの、その結果はあらためてお示しする。提案書の内容は総合計画の資料編に資料として載せたい」とフェイスブックをアップした。

皆さんの発表は、島田を愛する熱い気持ちであふれておりとても嬉しくなった。

百人会議の出席は、第1回全体会、第3回分科会、そして今回と3回目になるが、お会いするたびに、皆さんの中に渦巻く強いエネルギーを感じる。このエネルギーを活かすことこそが、私の目指す市民協働のまちづくりである。市民参画、市民協働というが、その言葉だけでは動かない。これだけ多くの方のエネルギーをどう活かしていくかだと思う。ただ、個性もあり考え方も違うので、活かしていくことは大変難しい。

これで総合計画への提言は一区切りし、本当に考えたいテーマに添って1年半取組んでいただくことになる。

市長はこの百人会議に何を求めているのかと聞かれることがある。もちろん、27年秋には、皆さんからどのような提案がされるのかをとっても楽しみにしている。そして、この約2年の間、ここで縁をつなぎ、語り合い、新たなネットワークが生まれ、この会議で人が育つこと、新たな活動が生まれてくることを期待している。それでこそ、島田を担う人だと思っている。

今日は皆さんにお約束をしたい。27年の秋には、百人会議の活動が一区切りするので、例えばおおりホールのような場所で、百人会議の活動の内容を発表していただき、市民の皆さんに聞いていただきたいと考えている。そして、その場で、方法はこれから考えるが審査か投票により決定した幾つかのものについては、それを実現するためのお手伝いをしたいと考えている。市民と協働でやるもの、みなさん方が具体的に動いていくもの、そのための予算付けをしていきたい。そんなにたくさんはできないかもしれないが、幾つかのものについては具体化できるようフォローしていきたい。だから、ここにいる方が最後まで顔を揃えてやっていただけたらありがたいと考えている。

市民エネルギーが渦巻いていると申し上げたが、これまで難しいことが幾つかあった。例えば、行政は駄目だ、最初から型にはめようとしている、答えありきだ、という意見があったが、この2年間には行政がやっていることの本当のところを見ていただき、いわゆるこうしたすり込みが消えることを願っている。

役所の職員も今は一生懸命やっている。役所に来て、新聞を読んでお茶飲んでいるという昔のステレオタイプのようなことはない。今は、限られた人数の中で、職員ひとりひとりが切磋琢磨して、朝から晩まで働き続けているという状況である。ただ、長いこと組織の中にとると、コスト意識、スピード感、市民の方への心を込めた対応など、民間の活力とかけ離れたところにあることも事実である。変えていかなくてはならないこともある。しかし、そういったことも皆さんの声をいただきながら、必ず役所も変わっていくので、信頼を紡ぎながら2年間話し合いをしていただきたいと考えている。

これからは新たなテーマで活動をしていくことになる。そこで、皆さんにお願いがある。ここには、人生の先輩から、若い人まで様々な年代の方がいる。経験があり、島田の歴史を知っていて、

組織に長く勤められた方には発言力がある。その発言力を若い人たちを育てることに使っていただきたい。ここにも若い人たちが大勢いる。若い人たちを育てる2年間でもあってほしい。それが、島田を次の世代に引き継ぐことにつながる。

平成 27 年の秋にも盛大に発表会ができることを大きく期待し、私のあいさつとかえさせていただきたい。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

6 今後の分科会について

横田川リーダー説明：約 80 のテーマの応募があった。アンケート結果も添付されているので目を通していただけたい。

戸塚リーダー説明：分科会決定までの流れを資料に沿って説明。82 のテーマが挙がっているので、応募する人がゼロになる分科会が想定される。1月 20 日までに提出してもらったものを一覧にし、2月 7日に皆さんに配布する。10 くらいの分科会になることが望ましいが、少人数の分科会もあるので、その結果を見て協議したい。

【質疑応答】

Q1：テーマは、1つのみか。

A1：決まっていないので、皆さんの意見で決定したい。

Q2：一覧を2月7日の前に委員に配布してはどうか。

A2：合同会議でも意見が出たが、合同会議で決定したのでそのようをお願いしたい。

Q3：関連するテーマが多数あるので、合同会議でまとめあげることはできないか。

A3：タイトルが同じものはまとめたが、提案した人の思いがあるのでひとまとめにしなかった。皆さんが一任してくれるなら、合同会議で似たテーマをまとめる。

Q4：分科会の数は幾つを想定しているのか。

A5：未定である。合同会議では、「分科会の人数は、5人は必要ではないか。人数が多ければ、分科会の中でグループ分けをしてはどうか」という意見が出た。

Q5：テーマをグループ分けし、2月7日にテーマを発表し、その場でどの分科会に所属するか決めてはどうか。

A5：合同会議でも意見が出たが、成立しない分科会を希望した方が、その場で次の分科会を決めるのは難しいということで、このような方法を考えた。

Q6：3回の分科会でようやく顔を覚えたので、今のメンバーで新たな分科会もやっていきたい。

A6：このテーマで一緒にやろうと声を掛けてはどうか。

Q7：次回の会議まで1か月あり、時間がもったいない。市のHPに百人会議のサイトを作り、IDやパスワードを入力して資料をダウンロードできるようにすれば、郵送料もかからないのではないか。パソコンがない人は、市役所へもらいに行ってはどうか。

A7：そのような考え方もあると思う。

Q8：似たテーマをまとめるということをお願いしたい。

A8：合同会議で似たテーマを20以内にまとめることとする。ただし、まとめることについては、こちらに一任していただくということをお願いしたい。また、事前の郵送については難しいのでご理解いただきたい。1月31日の合同会議でテーマをまとめ、2月7日にテーマを再度公表する。そして、皆さんに選んでいただくという流れになる。

Q9：新たな分科会のテーマに関連する部署の職員に出席してもらえば、行政の情報が入り、活性化

すると思うが市長はどう考えているか。

A9：皆さんの気持ちはよく分かるが、何のために職員を入れるか。自分たちの考えを伝えたい、行政の情報を知りたい、いろいろな理由があると思うが、最先端に行く人たちは行政をあてにしないかもしれない。職員の参加については、もし自由にやってもいいと言えば手を挙げる職員がいるかもしれない。しかし、その職員が参加すれば、担当業務でないことを質問されれば責任ある返答に困る。仕事として関係部署の職員が参加した場合は、その職員は今の施策に沿った発言しかできない。となると、職員が入ることにどれだけの意義があるか疑問である。ただ、グループが決まったときに、1 市民として参加したい職員を全庁的に呼びかけたい。もし参加したい職員がいれば、市民と同じように入れてやってほしい。情報という意味で職員に聞きたいことがあれば、企画調整課の職員に聞いてほしい。そのようにお願いしたい。

7 閉会

- ・ 次回の百人会議は、2月7日（金）19時から、第3回全体会を開催。（市役所の駐車場ではなく、職員駐車場を使用。欠席する場合は、事務局へ連絡すること。）
- ・ 知事広聴「平太さんと語ろう」傍聴参加者募集について。